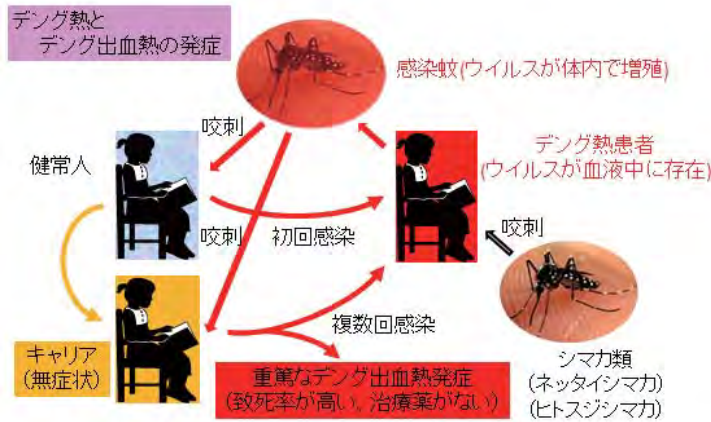
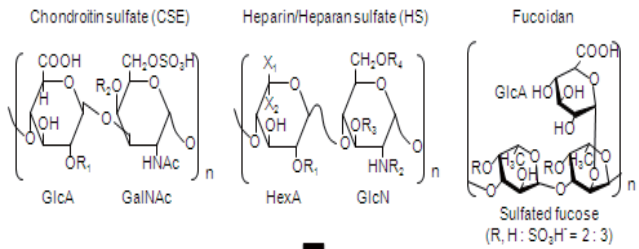


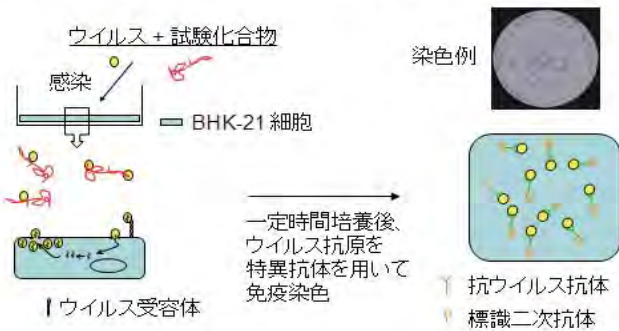
# 抗 Dengue ウィルス 剤



天然生理活性多糖物質群の探索研究から、発見されたウィルスの細胞内侵入を阻害する物質

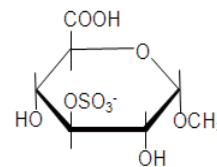


## 感染阻害活性の評価(フォーカスアッセイ)



## 新規抗 Dengue ウィルス 阻害剤(糖誘導体)

### Methyl- $\alpha$ -3-O-sulfated glucuronic acid



Dengue ウィルス 感染阻害効果: EC<sub>50</sub> = 0.12 mM

細胞障害性: CC<sub>50</sub> > 1.0 mM

発明名称: 抗 Dengue ウィルス 剤  
出願番号: 特願2010-248271  
出願人: 静岡県立大学法人、学校法人常翔学園

## 新技術の概要

Dengue 熱・出血熱に対する有効で安全性の高い抗 Dengue ウィルス 薬、感染予防薬剤の開発が急務である。天然生理活性多糖物質群の探索研究から、ウィルスの細胞内侵入を阻害する物質を発見。感染阻害作用を示す多糖の構造比較から、阻害活性を示す共通の最小構造を同定し、その構造を基に抗ウィルス活性を示す低分子糖誘導体を化学合成した。

## 新技術の主な特徴

- ・従来の薬剤とは作用機序が異なり、ウィルスの細胞内侵入を阻止できる。
- ・化合物の安定性、水溶性が高く、容易に合成できる。
- ・生体内に存在する糖由来の誘導体であり、免疫原性が極めて低く、安全性が高い。

## 従来技術・競合技術との比較

従来、HTS によりウィルスプロテアーゼやポリマーゼに対する阻害剤が主として開発されてきたが、臨床応用された薬剤はない。作用機序が異なる本化合物は従来の薬剤に比べて、高い水溶性、安定性を有し、免疫原性を持たず、糖の官能基修飾のみで化学合成可能なことなどの技術的な優位性を有する。